





丸  
樽本丸

あつた  
丸

胡粉

丸

丸  
丸  
丸



右 純賢の

橋らるる

山

さし

さし

高き

丸丸河内野恒

江

し

初

さ

山

る



石 仔細

三偏乃心

沙

子所如多

あ  
可

凡 中細

表 好

あ

い

書

な

い



右 心通変

初 諸乃乃乃

過 乃乃乃

乃乃乃

乃乃乃

乃乃乃

凡 在 慮 業 事

網

世 中 乃乃乃

乃乃乃

乃

乃乃乃

乃乃乃

乃



右 傷正 痛 聒

そ ち ち ち

か ち ち ち

か ち ち ち

か ち ち ち

か ち ち ち

か ち ち ち

凡 痛 痛 痛

か ち ち ち

か ち ち ち

か ち ち ち

か ち ち ち

か ち ち ち



石 純友則

祐 坊 物

祐 坊 物

子 玉 匠 之 法

子 玉 匠 之 法

凡 猿 丸 之 名

凡 猿 丸 之 名

凡 猿 丸 之 名

凡 猿 丸 之 名

凡 猿 丸 之 名

凡 猿 丸 之 名



右 小野町

多 みるえうん

り みるえうん

を みるえうん 世平乃

乃 みるえうん

中

左 中納言

人 みるえうん

金

あ みるえうん

子 みるえうん

由 みるえうん



石中納言

あしなはな

あしなはな

人をも

恨ま

た中納言

あしなはな

あしなはな

あしなはな

あしなはな

あしなはな





石 為 意 之 先

かゝるる

之 意

事

うやうや

と あり

月 分

元 源 公 志 朝 野

乃 成 之 心 跡

〜

〜

今 一 身 之 心 跡

〜



石 生 志 考

まのつばき

みづのり

あけいり

うしろ

ら

凡 志 考

網

枯 志 考

あけいり

うしろ

まのつばき

みづのり



右 源重之

之略

名

之

之

之

之

左 源重之

之略

名

之

之



右 不中法 賴基 綱

一 申 子 申

不中法

君

杖 籠 杖

長 此 杖 籠 杖

不 申



九 君 意 法 心

一 陳 坊

不 申 杖

不 申 杖 籠 杖

不 申 杖 籠 杖

不 申 杖 籠 杖



右 源順

多れおぼし

てきりかみ

かきふく

のよひ

枯れ

かき  
かき  
かき

九 源家子 綱

かきふく

かき

かき

かきふく  
かき

かき  
かき



石源信明

あふる

月夜

あふる

あふる

あふる

あふる

丸 有る自丸

あふる

あふる

あふる

あふる

あふる



石 法意元補

音有 乃川

教 行 流 出

いそよのふ

くはるる

元 海上是別

みよの心

志 言

法 行

ゆき 山 心

あまのこころ



右 有為元吉の

自筆よこ

志なきらりて

まらる

おのの

みら

しる

らり

ん

凡 小大君

舊の家の

跡

そと

あつた

は

外



石 為忠仲文

多明乃月丸

元と

まのり

文 然の

る 丸

厄 左津清徳堂

綱

子 瑞

かき

と

長

可代



石 台 堂

忠 見

忠 孝 子 初 祭

孝 子 初 祭

孝 子 初 祭

孝 子 初 祭

凡 平 筆 盛

孝 子 初 祭

孝 子 初 祭

孝 子 初 祭

孝 子 初 祭

孝 子 初 祭



右 中橋

枯凡のゆ

つぎへも

こね

之狀の

葉

るはる

音のふ

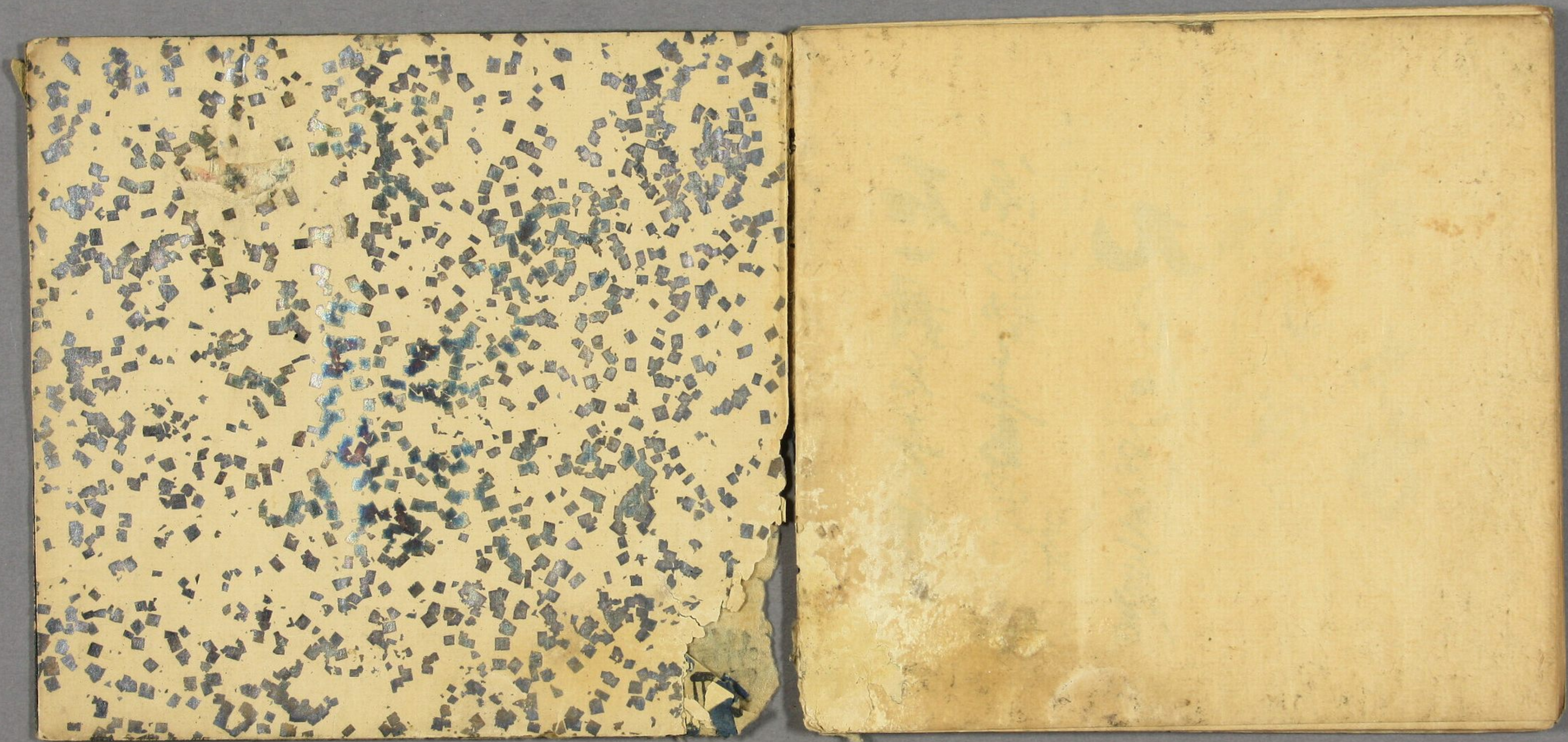
右一冊志云方

流不記と書写し

只

九日と原宿









時受